

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	急性期脳卒中におけるサルコペニア関連指標と重症化との関係
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者：	2020年11月1日から2022年3月末日までの間に発症7日以内に入院となった脳卒中患者さん。
③概要	<p>一般的に、脳卒中後の後遺症は発症からおおよそ半年の期間で改善することが知られています。しかし、高齢化や高い脳卒中再発率を背景にこのような一般的な改善が得られず、急性期病院退院後にさらなる重症化を招くことがあります。このような脳卒中後の重症化の要因については明らかになっておらず、予防する手法も確立していません。</p> <p>今回、私たちは脳卒中を発症した患者さんの入院時点の指標が退院後の重症化に与える影響を明らかにするために本研究を計画しました。</p>
④申請番号	E2024000601
⑤研究の目的・意義	脳卒中を発症した患者さんの入院時点の指標が退院後の重症化に与える影響を明らかにすること。
⑥研究期間	倫理委員会承認日から2029年3月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、リハビリテーション評価結果、栄養摂取状況を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	患者背景（年齢、性別、治療状況）、臨床所見、血液所見、併用薬剤、予後
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院（代表：佐藤陽一）、関西医科大学（代表：野添匡史）、甲南医療センター（代表：山本健太）
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	関西医科大学リハビリテーション学部 准教授 野添匡史 魚沼基幹病院リハビリテーション技術科 主任理学療法士 佐藤陽一
⑪お問い合わせ先	リハビリテーション技術科 主任理学療法士 佐藤 陽一 Tel：025-777-3200 E-mail：yoichi3041@med.niigata-u.ac.jp